

年間授業計画

教科:(工業)科目:(建築計画) 対象:(第2学年) (3)単位 教科書:建築計画(実教出版)

教科担当者:(山口 直志 ㊟)

1年間の計画を確認した後押印

教科	教務	副校長	校長

	指導内容 【年間授業計画】	科目建築計画の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
4月	「建築計画」を学ぶにあたって	・日本および世界の建築計画の歴史や地球環境と建築計画のかかわりについて、図やイラストなどを用いてわかりやすく説明し、建築に対する興味・関心を高めるようにする。	・建築計画の歴史や地球環境と建築計画とのかかわりなどに興味・関心をもち、積極的かつ意欲的に学習に取り組んでいる。 建築計画にかかわる基礎的・基本的な知識・技術や実験・実習を通して、設計者としての望ましい心構えや態度を身につけるとともに、建築計画の意義や役割を理解している。	6
5月	第1章 建築と環境 1 建築と環境の概要 2 屋外環境と室内環境 3 換気と通風	・建築物を取り巻く環境の要素と建築物の内部を快適にする方法について理解させる。 ・わが国の気候、および建築物の内部を快適な室内気候にするための諸要素について理解させる。 ・室内の生活環境を良好に保つための換気と通風の基本的な事項、およびその計画上の規準について理解させる。	・建築物を取りまく環境をはじめ、わが国の気候や建築物の内部を快適な室内気候にするための諸要素、換気・通風に関心をもち、通風方式や室内気候の数値、必要換気回数などの計算方法などの理解に意欲的に取り組んでいる。 ・室内の生活環境を良好に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明に関心をもち、熱貫流率などの計算方法や日影図の作成方法、結露防止などの理解に意欲的に取り組んでいる。 ・室内の生活環境をよくするための色彩や音響に関心をもち、彩色計画の進め方や騒音防止、最適残響時間の計算方法などの理解に意欲的に取り組んでいる。	9
6月	4 伝熱と結露 5 日照と日射 6 採光と照明	・建築物の各部に生じる熱の移動のしくみ、および断熱方法について理解させる。 ・建築物と日照・日射の関係をはじめ、配置計画や平面計画との関連性について理解させる。 ・室内に快適な明るさを得るための採光と照明についての基本的な事項、およびその計画上の規準について理解させる。	・建築物を取りまく環境をはじめ、わが国の気候や建築物の内部を快適な室内気候にするための諸要素、換気・通風のほか、通風方式や室内気候の数値、必要換気回数の計算方法などを理解している。 ・室内の生活環境を良好に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明をはじめ、結露防止や熱貫流率の計算方法、日影図の作成方法などを理解している。 ・室内の生活環境をよくするための色彩や音響をはじめ、色彩計画の進め方や騒音防止、最適残響時間の計算方法などを理解している。	12
7月	7 色彩 8 音響	・色彩の基本的な事項、およびその計画方法について理解させる。 ・室内の生活環境をよくするための騒音防止や音響設計の基本的な事項について理解させる。	・室内の生活環境をよくするための色彩や音響をはじめ、色彩計画の進め方や騒音防止、最適残響時間の計算方法などを習得している。	9

	指導内容 【年間授業計画】	科目建築計画の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
9月	第2章 住宅の計画 1 住宅の意義 2 住宅計画の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅の役割や種類のほか、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能を示し、その計画上的特質について理解させる。 ・住宅地に建つ標準的な独立住宅の計画を示し、建築計画の進め方について理解させる。 	<p>”住宅の役割・種類をはじめ、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能、住宅の計画の進め方に関心を持ち、計画上的特質などの理解に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>・独立住宅の敷地、配置、平面、立面・断面、構造・設備、デザイン・色彩などの計画にあたっての留意事項に関心を持ち、設計への具体化などの理解に意欲的に取り組んでいる。</p>	12
10月	4 各部の計画 ■住宅の計画例	<ul style="list-style-type: none"> ・独立住宅における各室の形状、形態、適正な規模などを示し、さまざまな条件に対応した各室の計画の方法について理解させる。 ・住宅地に建つ木造の独立住宅を題材にして、建築計画の順序やエスキスの表現方法などを理解させる。 	<p>・独立住宅の各室の形式・形態、適正な規模、設備、位置などをはじめ、さまざまな条件に対応した各室の計画の方法などを理解している。</p> <p>・独立住宅の計画の順序やエスキスの表現方法をはじめ、実践的な計画の進め方を理解している。”</p>	12
11月	第3章 各種建築物の計画 1 集合住宅の計画 2 事務所の計画 3 小学校の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・集合住宅の目的や種類、使われ方のほか、敷地・配置・平面などの各計画にあたっての都市計画とのかかわりなどの留意事項、および住戸を構成する各室の形式・形態、適正な規模などを示し、集合住宅の計画の方法について理解させる。 ・事務所の目的や種類、使われ方のほか、敷地・配置・平面などの各計画にあたっての留意事項、および事務所を構成する各室の形式や適正な規模などを示し、事務所の計画の方法について理解させる。 ・小学校の目的や種類、使われ方のほか、校地・配置・平面などの各計画にあたっての留意事項、および小学校を構成する各室の形式や適正な規模などを示し、小学校の計画の方法について理解させる。 	<p>・集合住宅や事務所、小学校の役割・種類に関心を持ち、計画上的特質などの理解に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>・集合住宅や事務所、小学校の敷地、配置、平面、立面・断面などの計画にあたっての留意事項に関心を持ち、設計への具体化などの理解に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>・集合住宅や事務所、小学校の各室の形式・形態、適正な規模、設備、位置などに関心を持ち、さまざまな条件に対応した各室の計画の方法の理解に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>・集合住宅における避難・消防計画、事務所・小学校における防災・避難計画にあたっての留意事項に関心を持ち、設計への具体化などの理解に意欲的に取り組んでいる。</p>	9
12月	第4章 都市と地域の計画 1 都市と都市計画 2 都市計画制度と都市計画法 3 建築と地域の計画 4 地域の計画とまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・都市における都市計画の目的や理念、都市計画の基本的なしくみについて理解させる。 ・都市計画法に基づく都市計画の進め方や、実現化される過程について理解させる。 ・都市に建築物を設計する場合や、新しい市街地を計画する場合の配慮すべき事項について理解させる。 ・各地域の特性を生かした環境づくりの具現化を図る方法について理解させる。 	<p>・都市における都市計画の目的や理念に関心を持ち、都市計画に基本的なしくみなどの理解に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>・都市計画法に関心を持ち、都市計画の進め方や都市計画の実現化の方法などの理解に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>・建築と地域の計画の係わりに関心を持ち、都市に建築物を計画するときや新しい市街地を計画するときの配慮すべき事項などの理解に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>・まちづくりに関心を持ち、それぞれの地域の特性を生かした環境づくりの実現化の方法などの理解に意欲的に取り組んでいる。</p>	9

	指導内容 【年間授業計画】	科目建築計画の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
1 月	第5章 建築設備の計画 1 建築設備の概要 2 給排水・衛生設備 3 空気調和設備 4 電気設備	<ul style="list-style-type: none"> ・建築設備の目的、内容や、設備計画を行うにあたっての基本的な事項を示し、設備計画の重要性について理解させる。 ・給排水・衛生設備や浄化槽、ガス設備などの基本的な事項を示し、これらの計画の方法について理解させる。 ・空気調和・換気設備および冷暖房・換気設備の基本的な事項を示し、これらの計画の方法について理解させる。 ・電力設備や照明設備、通信設備の基本的な事項を示し、これらの計画の方法について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建築設備の目的・内容や設備計画を行うにあたっての基本事項、給排水・衛生設備、浄化槽、ガス設備などに関心を持ち、これらの計画の方法などの理解に意欲的に取り組んでいる。 ・空気調和設備をはじめ、暖房・換気・電気設備などに関心を持ち、これらの計画の方法などの理解に意欲的に取り組んでいる。 ・消火設備をはじめ、警報・避難・避雷・搬送設備などの基本的な事項に関心を持ち、これらの計画の方法などの理解に意欲的に取り組んでいる。” 	9
2 月	5 防災設備 6 搬送設備 第6章 建築の移り変わり 1 日本の建築（原始から近世まで） 2 西洋の建築（古代から近世まで）	<ul style="list-style-type: none"> ・消火設備や警報設備、避難設備、避雷設備の基本的な事項を示し、これらの計画の方法について理解させる。 ・エレベーターやエスカレーター、駐車設備の基本的な事項を示し、これらの計画の方法について理解させる。 ・わが国の原始から近世にいたるまでの住宅や宗教建築、都市の移り変わりはじめ、建築物や都市がつくり出されてきた過程について理解させる。 ・西洋の古代から近世にいたるまでの代表的な地域・時代の建築の移り変わりはじめ、それぞれの地域や時代の特徴的な建築様式や考え方について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建築設備の目的・内容や設備計画を行うにあたっての基本事項、給排水・衛生設備、浄化槽、ガス設備などをはじめ、これらの計画の方法などを理解している。 ・空気調和設備や暖房・換気・電気設備などをはじめ、これらの計画の方法などを理解している。 ・消火設備や警報・避難・避雷・搬送設備などの基本的な事項をはじめ、これらの計画の方法などを理解している。 	9
3 月	3 近代の建築 4 現代の建築 □	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命以後の西洋およびわが国における近代建築のつくり出されてきた過程をはじめ、現代建築に与えた影響について理解させる。 ・戦後の西洋およびわが国における建築物の発展をはじめ、建築計画への応用について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の原始から近世にいたるまでの住宅や宗教建築、都市の移り変わりなどに関心を持ち、現代の建築物に受け継がれている建築の基本的な考え方などの理解に意欲的に取り組んでいる。 ・西洋の古代から近世にいたるまでの代表的な地域・時代の建築物の移り変わりなどに関心を持ち、その移り変わりから、どのような要素が、また、どのような建築物をつくり出したのかの理解などに意欲的に取り組んでいる。 	9